

5 2003年度 環境アクションプランの概要

九州電力は、環境経営を推進するため、九州電力環境憲章に基づき、毎年、環境アクションプランを策定しています。

環境経営としては、従来の環境規制への的確な対応や社会の要請に対応した自主的な環境活動の展開を更に進めて、積極的に地域と一体となった持続可能な社会づくりを目指していくことにしています。

環境アクションプランでは、「環境経営の推進」、「地球環境問題への取り組み」、「循環型社会形成への取り組み」、「地域環境との共生」、「社会との協調」の5つの柱からなる「環境行動方針」、環境目標、環境活動計画を定め、その実現に向けて全社をあげて取り組んでいます。

特に2003年度環境アクションプランでは、地域と一体となった持続可能な社会づくりの第1段階として、3つの視点をベースに策定しており、

- 「環境マネジメント体制の確立と活動の定着化」では、全社員の確実な環境活動の実践を図っていく
- 「環境広報の更なる推進」では、地域や次世代教育の主体である主婦層との双方向コミュニケーションツールとして「エコ・マザークラブ」を立ち上げ、積極的な情報提供を進めていく
- 「九電グループ一体となった環境経営の推進」では、九電グループ各社に対して、九州電力として活動支援を強化していくなどが、特徴となっています。

2003年度 環境アクションプラン策定の視点

- 全社員が環境活動の重要性を認識し、企業価値向上に対する目的意識を持ちながら自主的に環境活動を実践する。
- お客さまをはじめとするステークホルダーとの環境情報の双方向コミュニケーションを積極的に展開する。
- 九電グループ一体となった環境活動の積極的展開を図る。

2003年度 環境活動計画の概要

1 環境マネジメント体制の確立と活動の定着化

◎全事業所での環境マネジメントシステム(EMS)の構築完了と的確な運用

2 環境会計制度の確立とその活用による環境管理の充実

◎環境活動の効率性指標の設定とその活用による環境活動の管理手法の確立

3 環境広報の更なる充実

◎既存情報媒体を活用したきめ細かな環境情報の提供
◎環境オピニオンリーダー“エコ・マザー”を核としたネットワーク“エコ・マザークラブ”の構築

4 九電グループ一体となった環境経営の推進

◎グループ一体となった環境活動の充実と活動支援の強化

5 CO₂排出抑制への着実な取り組み

◎原子力発電の安全運転などによるCO₂削減対策の確実な実施
◎京都メカニズム活用推進と再生可能エネルギー導入に向けたRPS法、グリーン電力制度への的確な対応

6 事務所における省エネ活動の更なる推進

◎空調・照明設備の省エネ対策の実施と自主管理による省エネ活動の徹底

7 社用車低燃費化の推進

◎低燃費車、クリーンエネルギー車の積極的な導入

8 SF₆の回収徹底

◎機器点検時、撤去時の真空回収装置使用徹底によるSF₆排出量の削減

9 規制対象フロンの回収徹底

◎規制対象フロン回収の徹底とフロン未使用機器の積極的な導入

10 ゼロエミッションへの挑戦

◎廃棄物リサイクルの促進とコスト効果的活動の展開

11 グリーン調達

◎汎用品、電力用資機材の環境配慮型製品の積極的調達

12 環境関連事業への取り組み

◎緑化・環境テーマパーク事業の調査・評価とリサイクル事業の推進

13 九州ふるさとの森づくりの展開

◎各地のシンボルとなるような「九電の森づくり」計画の策定

14 環境NGO等とのコラボレーションによる環境活動の展開

◎女子畑発電所ダム周辺を活用した環境教育支援活動の充実
◎カーシェアリング事業への積極的な協力・支援活動の展開